

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-60623

(P2000-60623A)

(43)公開日 平成12年2月29日(2000.2.29)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
A 4 5 C 11/18		A 4 5 C 11/18	A
B 4 2 D 15/00	3 4 1	B 4 2 D 15/00	3 4 1 D

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平10-232040

(22)出願日 平成10年8月18日(1998.8.18)

(71)出願人 592006039

株式会社プロジェクトセンター

横浜市旭区本村町57番26号

(72)発明者 千 古 甫

神奈川県横浜市旭区本村町57-26 株式会

社プロジェクトセンター内

(74)代理人 100093399

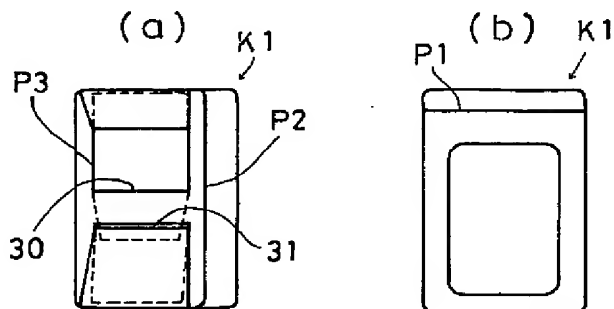
弁理士 瀬谷 徹 (外1名)

(54)【発明の名称】 カードケース

(57)【要約】

【課題】 多数のカードを収納でき、特に、回数券を入れるポケットを有する構造が簡単なカードケースを提供することを目的とする。

【解決手段】 基材は、矩形の主基材と、該主基材と一体に形成される上結束材と下結束材とで構成され、前記主基材はその長尺方向に沿って順次に平行の折目で区分される矩形の第1、第2、第3、第4パネルを形成していて、前記上結束材と下結束材はそれぞれ前記第1パネルの上側と第2パネルの下側に連体され、前記第3パネルには前記上下結束材がそれぞれ挿入できる開口と挿入口が形成され、前記基材を三つのポケットを形成するように折り畳んでなることを特徴とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 カードを入れる 3 又は 4 個のポケットを有するカードケースにおいて、予め一定な形状に裁たれるシート状の基材を折り畳んでなることを特徴とするカードケース。

【請求項 2】 前記基材は、矩形の主基材と、該主基材と一体に形成される上結束材と下結束材とで構成され、前記主基材はその長尺方向に沿って順次に平行の折目で区分される矩形の第 1、第 2、第 3、第 4 パネルを形成していて、前記上結束材と下結束材はそれぞれ前記第 1 パネルの上側と第 2 パネルの下側に連体され、前記第 3 パネルには前記上下結束材がそれぞれ挿入できる開口と挿入口が形成され、前記基材を三つのポケットを形成するように折り畳んでなることを特徴とする請求項 1 に記載のカードケース。

【請求項 3】 前記基材は、矩形の主基材と、該主基材と一体に形成される上結束材と下結束材とで構成され、前記主基材はその長尺方向に沿って順次に平行の折目で区分される矩形の第 1、第 2、第 3、第 4、第 5 パネルを形成していて、前記上結束材と下結束材はそれぞれ前記第 1 パネルの上側と第 2 パネルの下側に連体され、前記第 4 パネルには前記上下結束材がそれぞれ挿入できる開口と挿入口が形成され、前記基材を四つのポケットを形成するように折り畳んでなることを特徴とする請求項 1 に記載のカードケース。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はカードや切符、特に回数券を入れるポケット付ケースに関する。

## 【0002】

【従来の技術】近年来、クレジットカード、プリペイドカード、遊戯カード及び回数券等各種のカードの使用はますます多くなる。しかし、従来、カード及び回数券等は財布や、手帳などに収納し携帯していた。従って次のような欠点がある。

(1) カードを貨幣などと一緒に保管する場合、カードを取り出す際、貨幣等を落ちたり、紛失したりすることがある。

(2) カードは数多くある場合、全てのカードを財布に収納することができない。

【0003】(3) 又、現在の財布をカード収納専用として使用した場合、財布は財布そのもののいろいろなニーズに応じてデザインされるものであり、カード収納としてはサイズが大きく構造上は複雑で、製造コストも高い。

(4) さらに、従来は回数券を収納できたり、その使用中のものを別納し、すぐ使用できるようにしたものはない。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は前記のような

事情に鑑みてなされたもので、数多なカードを便利に収納でき、構造も簡単なカードケースを提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、本発明に係わるカードケースはカードを入れる 4 又は 5 個のポケットを有するカードケースにおいて、予め一定な形状に裁たれるシート状の基材を折り畳んでなることを特徴とする。

## 10 【0006】

【発明の実施の形態】次に図面に基づいて本発明を詳細に説明する。

## 【0007】実施の形態例 1

図 1～図 6 は本発明の一実施の形態例としてのカードケースの形成を説明する図である。本発明に係わるカードケース K 1 はシート状の基材 8 を折り畳んでなるものである。図 1 によると、基材 B 1 は、矩形の主基材 8 と、該主基材 8 と一体に形成される上結束材 6 と下結束材 7 とで構成される。主基材 8 はその長尺方向に沿って順次に平行の折目で区分される矩形の第 1、第 2、第 3、第 4 パネル 1、2、3、4 を形成していて、上結束材 6 と下結束材 7 はそれぞれ第 1 パネル 1 の上側と第 2 パネルの下側に連体される。又、第 3 パネル 3 には上下結束材 6、7 がそれぞれ挿入できる開口 30 と挿入口 31 が形成される。

【0008】又、第 1 と第 2 パネル 1 と 2 は同じサイズ、即ち、普通カードのサイズと同じにするのは望ましい。第 3 と第 4 パネルの幅は同じであるが、第 1 パネル 1 第 2 パネル 2 より小さくしてもよい。

30 【0009】このような基材 8 を以下の四つのステップで折り畳んで図 6 (a) (b) に示すような三つのポケットを有するカードケース K 1 が形成される。

(1) 図 1 の矢印に示す方向へ（即ち、第 2 パネルに）、第 1 パネル 1 及び上結束材 6 を折目 12 を以って折り畳んで、図 2 に示す形状が形成される。

(2) 更に、図 2 の矢印に示す方向へ（即ち、第 3 パネルに）、第 2 パネル 2 並びに第 1 パネル 1 及び上結束材 6 を折目 23 を以って折り畳んで、図 3 に示す形状が形成される。

40 (3) 更に、図 4 の矢印に示すように、第 4 パネル 4 を折目 34 を以って第 3 パネル 3 と第 1 パネルとの間に折り込む。

(4) 図 5 に示すように、上下結束材 6、7 を折目 16、27 を以って第 3 パネル 3 に折り畳んで、更に、上下結束材 6、7 の先端を折目 60、70 を以って折り曲げて開口 31、挿入口 32 に差し込む。

【0010】カードケース K 1 は三つのポケットがある、即ち、上から開口の第 1 と第 2 パネルとの間に形成されるポケット P 1 と、側端から開口の第 1 と第 4 パネルとの間に形成されるポケット P 2 と、開口 31 を有す

る第3と第4パネルとの間に形成されるポケットP3とがある。P1とP2はカードを収納、P3は回数券及び切符等を収納することができる。特に、開口30からは回数券を挿入して収納でき、開口31には使用中の回数券を挿入しておき取り出しを容易とすることができる。この時、開口30及び31より折り込みした上結束材6と下結束材7が、弾性片となってその反力で収納した回数券等を押圧して回数券の抜け出しを防止する。

【0011】又、第2パネル2には開口20及び折目22（該折目を以って第2パネル2の上端を折り込み）を設けてもよい。これによって、第1と第2パネル1と2との間に形成したポケットP1に収納されるカードはその中央部と上部が見えるばかりか、該ポケットに挿入又は取り出しも容易になる。

【0012】また、基材の材料としては、ポリプロピレン、紙等が挙げられる。

【0013】以上に示すように、カードK1はただ予め一定な形状に裁たれるシート状の基材9を折り畳んでなるものであって、構造及び製造工程が簡単であるばかりか、製造コストも非常に低い。

【0014】実施の形態例2

図7-図12は本発明の他の実施の形態例としてのカードケースの形成を説明する図である。図7によると、基材B2は、矩形の主基材9と、該主基材9と一体に形成される上結束材6と下結束材7とで構成される。主基材9はその長尺方向に沿って順次に平行の折り目で区分される矩形の第1、第2、第3、第4、第5パネル1、2、3、4、5を形成していて、上結束材6と下結束材7はそれぞれ第1パネル1の上側と第2パネル2の下側に連体される。又、第4パネル4には上下結束材6、7がそれぞれ挿入できる開口40と挿入口41が形成される。

【0015】又、第1、第2、第3パネル1、2、3は同じサイズ、即ち、普通カードのサイズと同じにするのは望ましい。第4と第5パネルの幅は同じであるが、第1パネル1、第2パネル2又は第3パネルより小さくしてもよい。

【0016】このような基材B2を以下のステップで折り畳んで図12に示すような四つのポケットを有するカードケースK2が形成される。

(1) 図7の矢印に示す方向へ（即ち、第2パネルに）、第1パネル1及び上結束材6を折目12を以って折り畳んで、図8に示す形状が形成される。

(2) 図8の矢印に示す方向へ（即ち、第3パネルに）、第2パネル2並びに第1パネル1及び上下結束材6、7を折目23を以って折り畳んで、図9に示す形状が形成される。

(3) さらに、図9に示すように、第5パネル5を折目45を以って第4パネル4に折り込む。

(4) 更に、図10に示すように、第4パネル4並びに

第5パネル5を折目34を以って第3パネル3に折り込む。

(5) 図11に示すように、上下結束材6、7を折目16、27を以って第4パネル4に折り畳んで、更に、上下結束6、7の先端を折り曲げて開口40、挿入口41に差し込む。

【0017】図12によると、カードケースK2は、四つのポケットがある、即ち、上から開口の第1と第2パネルとの間に形成されるポケットP1と、右側から開口の第1と第3パネルとの間に形成されるポケットP4と、左側から開口の第3と第5パネルとの間に形成されるポケットP2と、開口41を有する第4と第5パネルとの間に形成されるポケットP3がある。P1とP2とP4はカードを収納、P3は回数券及び切符等を収納することができる。特に、開口40からは回数券を挿入して収納でき、開口41には使用中の回数券を挿入しておき取り出しを容易とすることができる。この時、開口40及び41より折り込みした上結束材6と下結束材7が、弾性片となってその反力で収納した回数券等を押圧して回数券の抜け出しを防止する。

【0018】

【発明の効果】本発明に係わるカードケースはカードを入れる3-6個のポケットを有するカードケースにおいて、予め一定な形状に裁たれるシート状の基材を折り畳んでなるものであるため、数多くのカード及び回数券を収納でき、製造が簡単で使用にも便宜である。特に、使用中の回数券は別納し容易に取り出し可能とすることができるので非常に便利となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態例としてのカードケースを構成する基材の平面図並びに該基材を用いてカードケースを形成する第1ステップを示す図である。

【図2】図1による第1ステップの結果状態及びその後の第2ステップを示す図である。

【図3】図2による第2ステップの結果状態を示す図である。

【図4】図3に示す第2ステップの結果状態後の第3ステップを示す図である。

【図5】図4に示す第3ステップの結果状態及びその後の第4ステップを示す図である。

【図6】図1-5に示す第1-第4のステップで形成したカードケースを示す図であり、(a)は正面図、(b)は背面図である。

【図7】本発明の他の実施の形態例としてのカードケースを構成する基材の平面図並びに該基材を用いてカードケースを形成する第1ステップを示す図である。

【図8】図7による第1ステップの結果状態及びその後の第2ステップを示す図である。

【図9】図8による第2ステップの結果状態及びその後の第3ステップを示す図である。

【図10】図9に示す第3ステップの結果状態及びその後の第4ステップを示す図である。

【図11】図10に示す第4ステップの結果状態及びその後の第5ステップを示す図である。

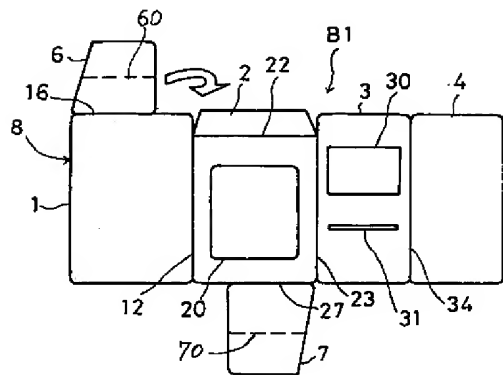
【図12】図7-11に示す第1-第5のステップで形成したカードケースを示す図であり、(a)は正面図、(b)は背面図である。

【符号の説明】

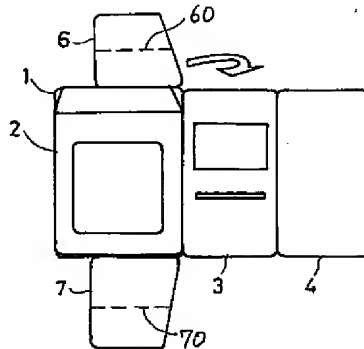
- \* 1 第1パネル
- 2 第2パネル
- 3 第3パネル
- 4 第4パネル
- 5 第5パネル
- 6 上結束材
- 7 下結束材

\* 12、16、22、23、27、34、45 折目

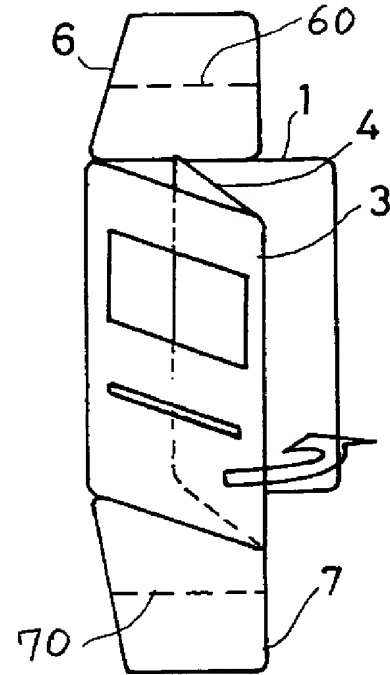
【図1】



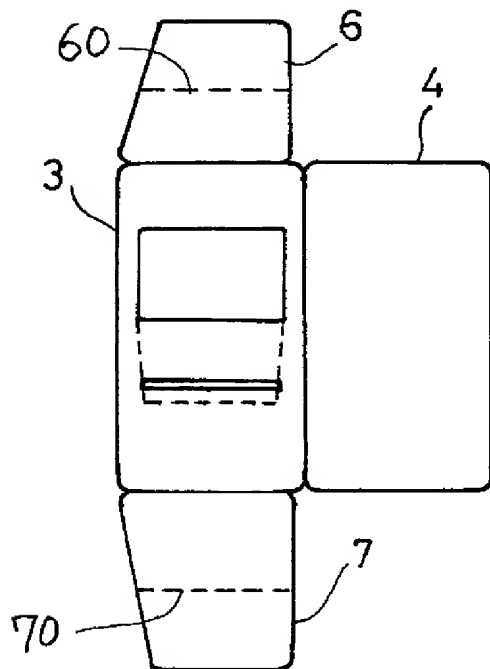
【図2】



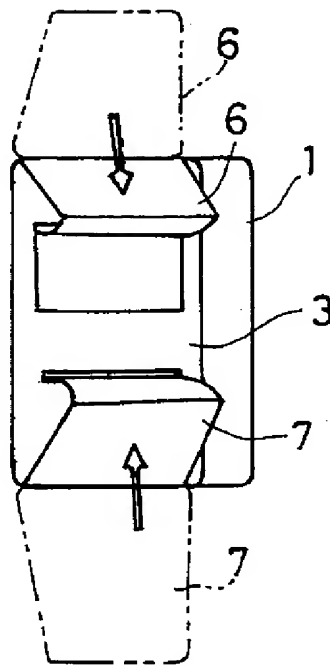
【図4】



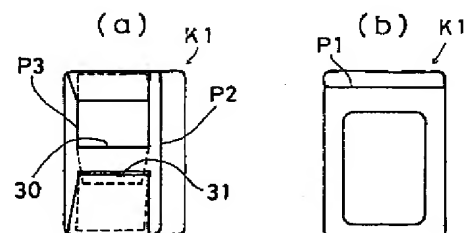
【図3】



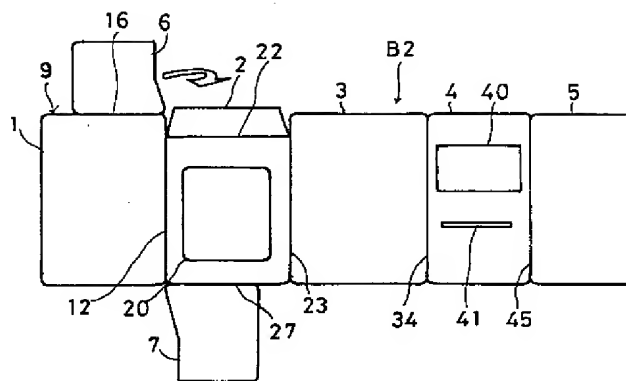
【図5】



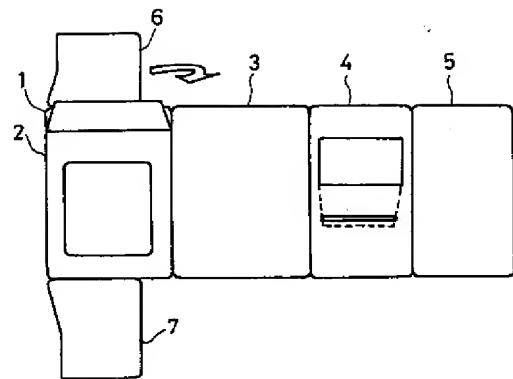
【図6】



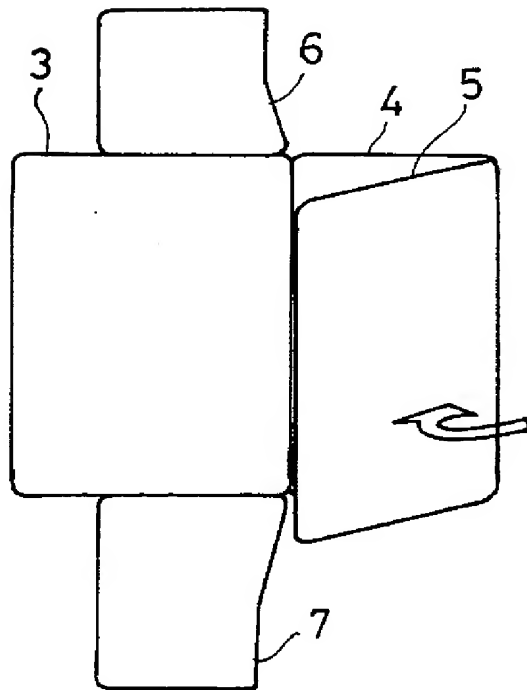
【図7】



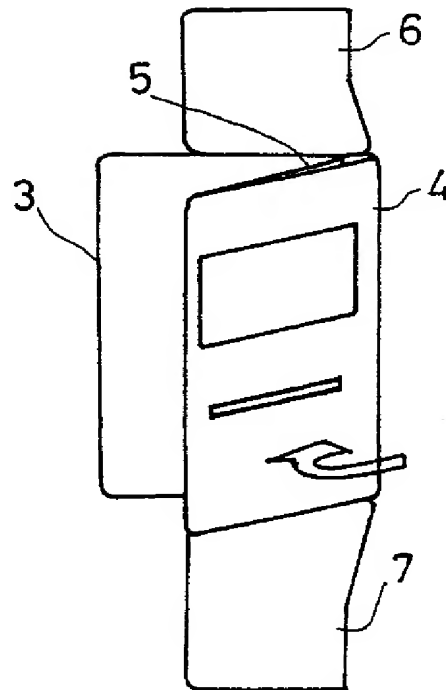
【図8】



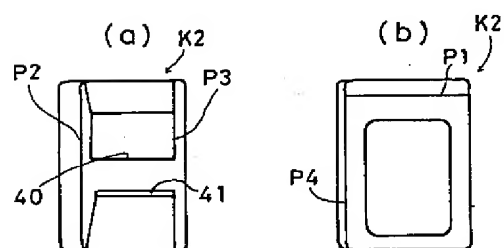
【図9】



【図10】



【図12】



【図11】

